

『おおきな木』通級指導教室だより

豊中市立北丘小学校 R6(2024)年度 2025年1月28日 NO. 4



『時間』となかよくなりたね

3学期の北丘小学校の目標は「時間を守り計画的に行動します」です。

始業式で、子どもたちに「時間となかよしですか？それとも時間となかよくなれない、ですか？」と聞いてみました。そして、「時間となかよし組」と「なかよくなれない3タイプ」でシール投票を行いました。

① 時間となかよしタイプ

時間をうまくつかうことができる「時間となかよし」の子どもたちです。



② 時間を支配したいタイプ

このタイプの人たちは時間を知っておかないと気になって落ち着きません。先生に「あと何分？次なにすんの？終わったらどうするの？」と聞きすぎて「後で言います」と注意されやすいです。

予定時刻より30分も早く着いて「まだです」と言われることもあります。絶対遅刻はしないので、その点は安心ですね。



③ 時間なんて気にしないタイプ

思い立ったらまず行動。どのくらい時間がかかるか気にせず、友達をさそって遊び始めたとたんにチャイムが鳴った！というタイプです。

いつもやる気いっぱい、持ち時間とうまくかみ合った時は大活躍です。でも片付けができず周囲に迷惑かけることもあります。



④ 時間に置いていかれるタイプ

目の前のことについて集中し、時間においていかれます。給食のときしゃべりすぎて食べる時間がなくなった、とか「宿題はあとで」とゲームに集中し、夜遅く大変なことになった…とか。

「先にやることやってしまいなさい」とよく言われるタイプです。集中力はすごいので、やりだしたらすぐできた、ということもよくあります。



シール投票は、①と④が同じくらいで多く、次が②、③が最も少ない（そもそも自覚してないかも・・・(^^;)という結果でした。

① は問題ないとして、②③④はどんなサポートができるでしょうか。

次は **対策編** です

② タイプの対策

そのつど伝えていると、大人の方が疲れます。いつもと同じことは感情的にならず、同じ言葉で短く伝えます。うるさいから無視しているとますますさらにエスカレートしたりします。マークなどで示し、「いちいち聞かなくてもよい」状態をつくるのも一案です。

また、先のことが気になり不安になるタイプは、うるさく言わないかわりに慎重すぎて、見通しが持てないと「やめとく」と消極的になりがちです。前もって「このことは不安になるだろうな」と予測し、口で伝えるだけでなく書き出して、目に見えるようにしておくで安心です。

予定表やカレンダーが心強い味方になりますが、きっちり決めれば決めるほど「突然の予定変更」に対応できず、かえって混乱することもあります。

「予定変更もあるけど、そのときはごめんね」の一言が有効ですよ。

③ タイプの対策

ぱっと聞いて行動し、考えるより体が動く方が先で、「どのくらい時間がかかるか、時間内にすませられるか」などは思い及びません。

このタイプは、失敗しても「打たれ強い」子が多いです。積極的で成功することも多いので、大人が「失敗したら自分で懲りて慎重になるだろう」と思ってもなかなか慎重にはなりません。「なんとかなる場面」と「人に迷惑をかける結果になる場面」に分けて、「迷惑をかける」ことについては粘り強く言い続け、迷惑かけないでうまくいったことを“成功”としていきましょう。

④ タイプの対策

まず、生活のなかで、時間や空間に“ファジー”なところがないかみてみましょう。毎日することが、日によって時間帯が違ったり、場所が変わったりすると、時間に追われる生活になりがちです。

がっちり決めつくす必要はないですが、場所や時間を決めて、まず「ひとつ」守るところから時間の管理をはじめてみてください。また、予定が多すぎると、“遅れ遅れ”になりやすいです。いつも予定がずれ込むときは、思い切ってやることをひとつ減らすのも有効です。

「前もって、予定を知っておくこと。一緒に確認しておくこと」一緒に確認、一緒に決める・・・このことが高学年になって時間を管理できる力につながります。

そして、大切なのは「時間の余白＝余裕」です。子どもは、ムダに見えるような“なにもしてない時間”に実は成長しています。

余裕のあるおちついた毎日を、笑顔で過ごしましょう。

通級指導教室「おおきな木」へのご質問、見学希望等がありましたら、まず担任の先生にご相談ください。
(豊中市立北丘小学校 通級指導教室担当：藤木桂子)